

令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 貴船 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和6年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないように、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
本市	15.98	19.39	34.42	40.27	49.36	9.54	150.13	21.81	53.10

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92
本市	15.88	18.39	38.51	38.13	38.67	9.79	142.58	13.44	54.32

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツが好きで、自分にとって大切なものだと思っている児童の割合が多い。一方で、学校の体育の授業以外で運動やスポーツに取り組んでいる時間は多くない。テレビやゲーム、スマートフォン等の画面を見ている時間が長いことが影響していると考えられる。 ・女子の睡眠時間が短い傾向がみられる。 ・体育の授業では、友達と交流したり、助け合ったりする活動をすることで、楽しさを感じたり、できたり、わかったりする児童が多い。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

<ul style="list-style-type: none"> ・持久力に課題がみられたため、学校全体で持久力を高める取組を行う(体力アップ週間、持久走大会)。 ・児童が運動の楽しさを実感できるような授業を行う(授業改善)。 ・ICTを効果的に活用し、自分の動きを実感させるようにするとともに、課題解決の工夫を自分一人だけではなく友達とも考えることができるようにする。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

<ul style="list-style-type: none"> ・運動場にバスケットボールコートやドッジボールコート、バレーボールやテニス用のネットを常時設置するなどして、運動しやすい環境を整える。 ・放課後に運動場を開放し、ボール遊びや鬼ごっこなどを広々とした場所で行えるようにする。 ・生活習慣の乱れが与える健康や成長への影響について、児童だけでなく保護者にも「学級通信」や「ほけんだより」などを通じて伝え、生活習慣の改善を促す。
